



情報は名古屋デスクへ

TEL 052(561)5212
FAX 052(561)5207

購読のお申し込み

☎0120・605・123
10時~18時(日・祝日除く)

WEBでのお申し込み

中部経済

検索

おへやさかしは

部屋セレクト

S-POINT
http://www.spoin.jp

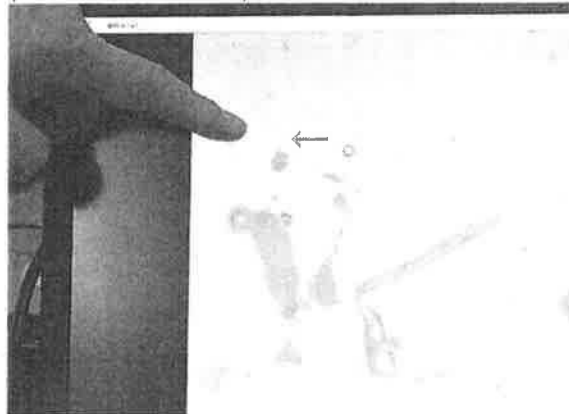
環境汚染物質を浄化する薬剤の開発・製造を手がける、JPカンファレンス(本社名古屋守山区下志段味・クリエーションコア名古屋206、羽根田晃社長、電話052・739・2526)の開発した薬剤「JP-010」(製品名)が、国内の大手電機企業に採択されることになった。同薬剤の噴霧により、アスベストを無害化できる特性が評価された。大口の受注獲得は、来期に目指している株式会社公開へ向けて弾みを付ける実績となる。(水谷英志)

JPカンファレンス



羽根田晃社長

針状結晶「クリソタイル」を分解する様子を動画にまとめた



売上高3億円上積みへ

契約は来年3月に調印する予定。選考対象となった十数社の中から選ばれた。原子力発電所の廃炉および再稼働に関する工事が対象となっている。主に電源ケーブル周囲のアスベストを除去する工事で用いられる予定。

(羽根田社長)という。同社が来期に上場を目指すしているのは、東京証券取引所のプロ投資家向け市場「東京プロマーケット」。

リップ証券(東京都)が担当する予定。認知度を高めるため、26日から開催される異業種交流展示会「メッセナゴヤ」にも出展する。同社の開発した薬剤により、アスベストの有害物質「クリソタイル」が分解する様子を、デジタル顕微鏡で撮影した動画を公開しており、大きな反響を集めている。将来的に、愛知県内を候補に新工場建設も視野に入れている。株式公開は、優秀な人材確保により業容を拡大させる狙いもある。前期売上高は1億3千万円だったが、今期は大手セネコン各社が同薬剤を採用するなど、需要が伸びている。今後は迅速な対応により、需要を的確に捉えて受注拡大を図る方針。

アスベスト無害化薬剤「JP-010」 電機大手から大口受注

メッセナゴヤ
10月26~29日 2016

出展企業

保しているが、今回の大口受注により3億円の上積みが期待できる

名古屋市中 中小の事業創出を支援

IoTなど12月7日に説明会

名古屋市中は24日、意欲ある市内中小企業の新事業創出を支援する「名古屋中小企業イノベーション創出プロジェクト」を実施すると発表した。ガイダンスは12月7日午後2時から、名古屋市中村区の名鉄グランドホテル柏の間で開く。プロジェクトで立ち上げる研究会は、デザイン活用IoT(モノのインターネット)・新技術応用、女性ビジネスの3テーマで展開する。参加者はいずれかの研究会に所属し、3回開催するワークショップと、新設する個別指導窓口を利用できる。

研究会参加の前提となるガイダンスでは、セレンディップ・コンサルティングの竹内在社長が基調講演するほか、事業趣旨や研究会の説明を行う。参加対象は、市内に本店を置く中小企業で、法人および個人。女性ビジネス研究会は、市内で創業を検討している女性に限る。募集

弁護士の柴田義朗さん(56)が、全国約650人の弁護士でつくる医療事故情報センター(名古屋市中)の理事長を務めるようになって15年がたった。オウム真理教信者に殺害された親友の故・坂本堤弁護士(当時33)の「安全な医療の実現」という遺志を継ぐとの思いが日々の活動を支えている。

医療事故情報センター理事長 柴田義朗さん



④医療事故情報センター理事長 柴田義朗弁護士

教師から弁護士に転じた父親の背中を追うように、1984年に司法試験に合格。司法研修所で坂本さんと同じクラスになった。障害者支援のボランティア活動に熱心に取り組む、「医

迷ぎ支援

柴田さんも講演会を開いたり、情報提供を呼び掛けるチラシを配布したり、救済活動を続けた。しかし、95



④医療事故情報センター理事長 柴田義朗弁護士